



2024年12月、中国政府は「第1次目隔年透明性報告書(BTR)」を国連に提出した。この報告制度は、第24回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP24、18年)において合意されたもので、各締約国は2年ご



中国「ガス削減報告書」

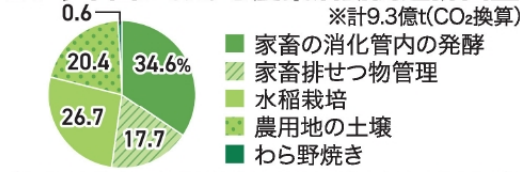
地球環境戦略研究機関主任研究員 金振氏

中国のGHG排出量と分野別の排出状況

※単位=億t(CO₂換算)

	2005年	2020年	2021年
全体排出量	83.55	137.66	143.14
エネルギー活動	64.75	105.6	110.07
工業生産過程と製品の使用	9.06	20.49	21.4
農業活動	8.59	9.15	9.31
土地利用(変化を含む)と林業	-9.11	-13.03	-13.15
廃棄物処理	1.16	2.42	2.36

21年中国における農業活動関連排出量



(出典:生態中国網「中華人民共和国第1次目隔年透明性報告書」、2024年12月)

畜産で排出量増傾向

とに自国の削減目標(NDC、国が決定する貢献)の進捗(しんちよく)状況を把握す

る上で重要な役割を果たす。BTRは、五つの主要な報告項目が含まれており、国家イン

ベントリ報告書やNDCの進捗・達成状況の確認に必要な情報は報告必須項目であるのに対し、気候変動による影響や脆弱(ぜいじゃく)性評価、途上国支援状況などに関する内容は任意報告の対象である。中国のBTR報告書は五つの主要項目を全て網羅している。

報告書によれば、21年における中国の温室効果ガス(GHG)総排出量は14.3億トに達し、前年比では4.3%、2005年比で

は70%増えている。このうち農業部門の排出量は9億3100万ト(二酸化炭素(CO₂換算))で総排出量の約6.5%を占め、前年比1.8%増となっている。農業部門からの排出量の70%以上をメタンが占めており、残りは一酸化二窒素となっている。増加の主な要因は、家畜関連の排出量の増加にある。

家畜の腸内発酵に起因する排出量が3.22億トと前年比2.4%増加し、家畜ふん尿管理からの排出量も1.65億トと、6.3%の大幅な増加を記録した。他方、水稲作付けなどによる排出量は2億

4800万ト、農地からの排出量は1億9000万トと、いずれも2020年と同水準を維持している。また、環境負荷の低減に向けた取り組みの成果として、わら野焼きによる排出量が前年比13.6%減の500万トまで削減されたことは注目に値する。この報告書は、中国の農業部門におけるGHG排出量の実態を明らかにするとともに、特に畜産部門における排出削減の必要性を示唆している。

今後、中国がどのような対策を講じ、パリ協定の目標達成に向けてどのように取り組んでいくのか、注目される。

今後は、中国がどのような対策を講じ、パリ協定の目標達成に向けてどのように取り組んでいくのか、注目される。

今後は、中国がどのような対策を講じ、パリ協定の目標達成に向けてどのように取り組んでいくのか、注目される。